

# 太田川ダムだより

発行：静岡県太田川ダム建設事務所 第8号 平成16年9月



## 本号の内容

- [特集] あれから30年…  
～七夕豪雨を振り返る～
- ダム工事が順調に進んでいます。
- 親と子のダム見学会を開催
- “緑のダム”は治水に有効か？
- 企業局からのお知らせ



▲ダムの建設機械って大きいね

## 親子でダムを体感！

◎ **ダム工事が順調に進んでいます。**  
太田川ダム本体工事では、七月末より発破による掘削工事をはじめました。今まで掘削していた機械（ブルドーザ）では砕くことができない硬い岩盤に、火薬を仕掛けて爆破し、掘削を進めています。今後は、平成十七年度のコンクリート打設に向けて、コンクリート製造設備、骨材製造設備の設置工事を進めていきます。



上流から下流を望む  
撮影日 平成16年8月21日

◎ **「特集」 あれから三十年…**  
～七夕豪雨を振り返る～  
今年、全国各地で豪雨による災害が多発しています。また、太田川流域に大きな被害をもたらした七夕豪雨から三十年です。年月とともに薄れていくあの災害を、この節目の年に振り返り、治水・水防の必要性を今一度考えてみましょう。



▲全戸が浸水した袋井市横井地区（昭和49年7月）

～七夕豪雨を振り返る～（次頁）

# あれから30年… 七夕豪雨を振り返る

三十年前の昭和四十九年七月七日、昼前から降りはじめた雨は、夜八時頃になると雨足がますます強まり、森町大河内では八日午前〇時からの一時間で九十五ミを記録したほか、二十四時間雨量で観測史上最大の四百九十一・五ミを記録した。太田川はまたたく間に増水し、一挙に堤防を破って流域一帯は濁流の海となり、家屋の流失や浸水、橋や道路の決壊など大きな被害を受けました。



▲水が引いた後も復旧作業は続く…  
(袋井市横井地区)



▲堤防が決壊し住宅地や農地が浸水している  
(袋井市延久地区)



▲濁流に襲われた家屋 (森町)



▲冠水した旧国道1号線 (磐田市三ヶ野地区)

## こんなに被害がでました

被害状況 (太田川流域)  
家屋全壊流出 87戸  
浸水家屋 2,240戸  
農地浸水 989ha  
死者1名、負傷者17名



## 七夕豪雨の痕跡

磐田市新貝には、七夕豪雨の恐ろしさを後世に残そうと、祈念柱が建てられています。



▲新貝公会堂前の冠水水位 (6.5m)を示す柱

## 二度と繰り返さないために…

静岡県では、三十年前の七夕豪雨のような災害を二度と繰り返さないために、太田川ダム建設工事とあわせて、太田川の河川改修工事を鋭意進めております。



▲太田川河床掘削状況

## 太田川を一日満喫

### 親子のダム見学会を開催

去る七月二十九日、太田川流域の親子四十八名が、毎年夏休み恒例の『第十五回親子のダム見学会』に参加しました。

ダム建設現場では、ダムをのせる硬い岩盤を、ハンマーで力いっぱいたたいたとき、硬さを体感しました。(表紙写真) また、川底から建設現場を見上げ、そのスケールの大きさを肌で感じました。



▲スケールの大きさにビックリ

涼

を求めて

今年も太田川へ

今年の夏は、連日三十度を越す暑い夏になりました。

この猛暑の中、多くの方が涼を求めて清流太田川を訪れ、水遊びや魚を追う子供たちの歓声が河原いっぱい響いていました。



▲今年も太田川は大盛況

# 体験者の声



袋井市横井在住  
池野眞市さん (65)  
現：横井自治会  
自主防災隊長

横井地区の太田川堤防が決壊し、あつという間に地域全体が濁流にのまれ、大きな被害を受けてから三十年が過ぎました。

当時の横井集落は三十戸足らずでしたが、この水害で公会堂を含む五軒が流失し、残った全ての家も床上まで水に浸り、道路は寸断され、集落全体が土砂に埋まった状態になりました。それでも死者が出なかったのが、わずかな救いでした。

自分の家も床上百四十五センチまで浸り、水が引いた後の惨状は、テレビに映し出される光景そのものでした。床上には二十センチ前後の泥が溜まり、家具の全てが家の中に散乱していました。

さらには大きな流木が家の中をはじめ屋敷全体に所狭しと流れ込み、まさに足の踏み場もない状態でした。またその中には大きなガスボンベも交じっていました。年月とともに記憶が薄れていくことは仕方ないことかもしれませんが、経験した者の一人として語り継いでいきたいと思っています。



▲当時の浸水水位を示す池野さん

あれから早いもので三十年が経ちました。それは忘れもしないあの七夕豪雨のことです。今年も新潟、福井地方の洪水、堤防の決壊をテレビ等で見ていると、三十年前の自分の所が思い起こされます。

あの時は、太田川の水位がどんどん上がり川中が盛り上がってきて、その内に大量の水があちこちで堤防を乗り越え、消防団に入っている自分達ではどうする事も出来なかった。

そのうち、水位が下がったと思ったら、「上流で堤防がきれた」との情報が入った。家に戻ったところ、泥水が裏の方から入って来て、見る見るうちに水位が上がってきた。脱穀機が浮いて流れそうになり、急いで掴まえたが水の勢いには勝てず、つい離してしまっていた。水位は胸のあたりまでできていた。家の中に入るとあらゆる障子の隙間から水が入り込み、畳が浮いたり、大きな物は周りが泥水のため動かし様がなく、ただ、あれあれと見ているばかりだった。

外を見ると、犬や猫、ヘビ等が流木に乗って流れて行き、ガスボンベがシュッシュッとガス噴出しながら流れ着いたり、いざ自分の事となるとその時は何も出来ない。

水が引いてからの後片付けがまた大変であった。すぐに晴れてくれれば良いのだが、十日間もぐずついた天気が続き畳を乾そうとしても、毒キノコが沢山生えてきて、ついに腐ってしまった。家には千羽近くの鶏が居て、全て死亡した。水位が増すごとに生殺しにあったかと思うと、大変胸が痛い。

もう、水害は御免だ。治水ダムの太田川ダムに期待をしています。



磐田市三ヶ野在住  
永田俊二さん (63)  
現：三ヶ野自治会長



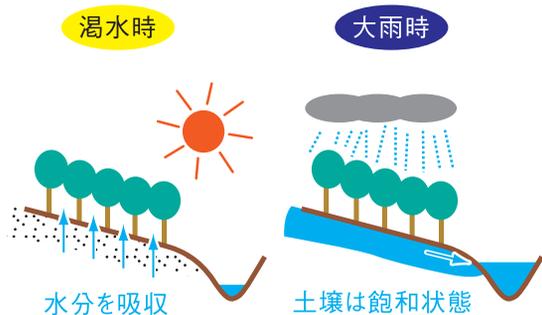
## 「緑のダム」による治水機能の代替は可能か？

森林には雨水を地中に浸透させ、ゆっくりと流出させる保水機能（「緑のダム」と呼ばれる機能）があります。

我が国は、世界でも北欧諸国等に次ぎ森林面積率が高い国（二〇〇〇年時点で六十四％）であり治水計画はこうした森林の保水機能を前提に計画されています。

森林は、中小洪水に一定の効果を発揮するものの、治水計画の対象となるような大雨時には、森林域から降雨がほとんど流出することが観測結果からわかっています。

従って、必要な治水機能の確保を森林の整備のみで対応することは不可能です。また渇水時には、森林は自分の生育のために土壌の水分を吸い上げるため、河川への流出量が減ってしまうことが知られています。



渇水時には、土壌の水分を吸収し河川への流出量を減らしてしまう。

大雨では、土壌が飽和状態となり、降った雨はそのまま流れ出す。

森林の洪水緩和機能には限界がある

# 静岡県企業局からのお知らせ

## 「水の日」(8/1)に浜名湖花博会場内でキャンペーン

**浜名湖花博来場者に  
冷たい  
おいしい水の  
ペットボトルを配布**

七月三十一日(土)と八月一日(日)の両日、水の大切さと、企業局が進めている遠州広域水道を知ってもらおうと、浜名湖花博会場内で、「柿田川の水」と「天竜川の水」、全三千本を配布するキャンペーンを実施しました。

特に、八月一日(日)には、開場と同時に大勢の方がお越しになり、二時間ほどで配布が終わる盛況ぶりでした。

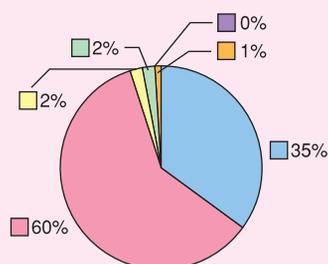
また、「飲み水アンケート」にも、約千五百名の方が遠州広域水道の区域内の方でした。

下記に掲載しましたアンケート結果はこの一部です。この皆様方の貴重なご意見をもとに、今後の水道行政を進めていきたいと思えます。

なお、詳細なアンケート結果については十二月上旬発行予定のRリリースに掲載予定です。

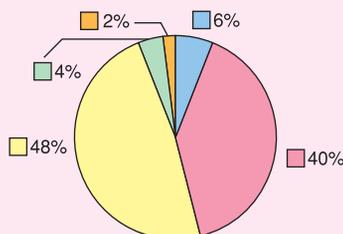


③あなたの家の水道水の味はいかがですか？



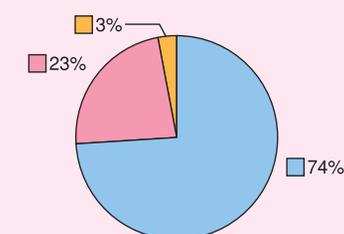
■おいしい ■特に何も感じない ■塩っぱい  
■しぶい(にがい) ■その他 ■無回答

②あなたの家の水道料金について、どう思いますか？



■安い ■ちょうどよい ■やや高い  
■非常に高い ■無回答

①遠州広域水道は、天竜市の船明ダムから取水していますが、知っていましたか？



■知っている ■知らない ■無回答

注1) この結果は、来場者の内、アンケートにお答え頂いた方の中から、遠州広域水道区域内にお住まいの方のお答えを抽出し集計したものです。  
注2) ②、③の結果については、各市町村が自己水源を有しているため、必ずしも遠州広域水道に対する評価とは一致しない場合があります。



### 太田川ダムを

### 見学してみませんか？

ご紹介したように、ダム工事が着々と進んでいます。地域を守るダムが、どのように造られていくのか、是非、現場でご覧ください。

### 申し込み方法

まずは、お電話でお申し込みください。

電話〇五三八

(八五)二〇二五

太田川ダム建設事務所

工事課企画調査係

※平日に十名以上の団体で受け付けています。

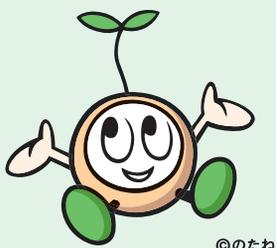
### 内容についてご質問等ございましたら……

静岡県太田川ダム建設事務所  
〒437-0215 静岡県周智郡森町森 1582-1  
TEL : 0538 (85) 2025 FAX : 0538 (85) 0885  
http://doboku.pref.shizuoka.jp  
/desaki/otagawa1/index.html  
e-mail : otagawa-kouji@pref.shizuoka.lg.jp

(水道・水質について)

静岡県企業局水道室

〒420-8601 静岡県静岡市追手町9番6号  
TEL : 054 (221) 2167 FAX : 054 (251) 5381



©のたね

